

〔翻刻〕『北野藁草』卷二(二)

佐藤信一

前稿(〔翻刻〕『北野藁草』卷二(一))、『国文白百合』四〇号、二〇〇九年三月刊)に引き続き、『北野藁草』を卷二の途中から翻刻の形で紹介したい。

底本には内閣文庫蔵の一本(和一五九七〇、一五八・二三)を用いた。

翻刻に際しては原本の字配りに従った。丁数は、「橘廣・相字朝」(一オ)のように、文末を「」で示し丁数と表裏をオ、ウとすることで示した。返り点が抜けていると考えられるものは○に入れて補った。なお、上欄外の注に図録編との対応を示すもの(例えば一のオに「圖一ノ四」とあるもの等)は、省略に従った。ただ、内容に関する注記は()で示した。また、上欄外の注における改行を「/」で示した。さらに、原本でも欠字を示す記号として「□」が用いられている(二五オ、二五ウなど)ので、欠字を「□」示した。

岩波大系(川口久雄氏校注『日本古典文学大系72菅家文章・菅家後集』一九六六年一〇月刊)との校異のあるものを「*」で示し、各丁の後に校異を示した。

異体字は本字に戻すことを原則としたが、「道」の異体字「道」と、「事」を表す「亅」に関してはそのまま残した。

この翻刻は、数年間に涉って継続された漢文学演習「北野藁草」を読む」での成果に基づく。今年度の履修者は、清田ひとみ、齋藤紀子、斉藤礼子、青山絵梨子、石田七生、小島沙貴子、相馬佳織、辻彩子、寺尾美鈴、能勢亜莉寿、高木香奈、初澤彩乃、藤岡満奈美の各氏である。

今回も前回に引き続き、紙数の制限もあり、翻刻にとどめたが、何れは簡便な注を施した上で、釈文を作成する所存である。

(本学教授)

【翻刻】

日^七下略[○]觀^テ王^ニ・度^ヲ園^ヲ・碁^ヲ。獻^ニ・呈^人人^ニ。○春日暇^景・景^尋・訪^故人^一。一席將^レ迎^能幾^人。人。因^レ君^レ記^得惜^ニ殘^春・春^一。餘花落^處・處^爭移^レ榻^漚。宿釀開^時且^流巾。軟^脚和風知^レ有^レ舊^怡・顔^暇・景既如^レ新。傷^心獨有^王・戎^在。向^レ竹^還・慙^格・物^身。

田氏家集云。春日暇景。訪同門友人。友道交情常欲

〔上欄外に「御師範／田達音／先生」と注記す。〕

深。適將何事効^ニ知音。儒家問^道詩無^レ用。王法新行酒

莫^レ淫。世上崎嶇多^ニ失^脚。花前暗淡不^レ留心。只今鄭重

來相訪。爲^ニ是同門契^斷金。○首家寒食第三辰^宴・宴^遇

雨。同賦^烟字。景遲雲^含暗^花前。寒食情^來觸^處憐。雖^一二四のウ

*暇……假、*淫……淫、*烟……煙

賀^王・春^施惠^澤。猶嫌微^雨似^輕・烟。遊春三日惜^芳年。

聞^道元曲錦上傳。今日雨中檢^柳樹。縱雖^鑽過^不成

レ烟

御文章云。陪^寒食^宴。雨中^即事。各分^ニ一字^待來^寒。

食路遙^々。自^一陽生^百・五^朝。天愍^子・推^嫌舉^火。柳烟

桃焰雨中消。○史記^竟宴^詠史。得^ニ司馬^相如^一。犬子猶

〔上欄外に「史記相／如少時／好書擊／劍名之／曰犬子」

司馬。相如有^舊聞。官^嫌爲^武騎。曲^喜得^文君。苦^諫長。

楊獵。多^勞廣^澤軍。大人今^可用。何^處不^凌雲。

田氏家集云。史記饗宴。詠^史得^毛遂。趙^勝知^士早。毛^一（一五のオ）

*曲……由

遂出^群遲。客^舍三^年默。荆^庭一^旦威。既揮^昇殿^劍。終

脱^廉襄^錐。寄^語他^同輩。如^何何^目・擊^時。

御文章云。寄テ巨先生ニ乞畫圖一。于レ時先生爲神泉苑監。遺許遊覽。仍獻乞之。

先生幸許禁闔遊。更恐時光不暫留。山水從來無檐去。願憑君得寫風流一。

拾芥抄云。神泉苑天子遊覽所以近衛次將爲別。二條南大宮。西八町下略。

〔上欄外に〕三條北壬生、東善女籠／王常見／此所。〕と注記す。

巨勢氏系圖云。巨勢朝臣金岡 采女正 公望―下略

御文章云。山陰亭ニテ冬夜待月。下略〔一五のウ〕

〔上欄外に〕山陰亭と注記す。御文章云。書齋記。東京宣風坊。有一家。家之坤維

有二廊。廊之南極有一局。學者目此局爲龍門。又號山陰亭。以レ在小山之西也。

御文章云。七月六日文會。下略○停習彈琴。偏信琴書學者資。三餘窓下七條絲。專心不利徒尋譜。用手多

迷數問師。斷峽都無秋水韻。寒鳥未有夜啼悲。知音皆道空消日。豈若家風便詠詩。

日本國見在書目錄云。正五位下行陸奥守兼上野權介藤原朝臣佐世。奉勅撰上略琴經一卷。琴操〔一六のオ〕

三卷。琴法一卷。琴錄一卷。琴德譜五卷。琴用手法一卷。雜琴譜百廿卷。彈琴手法一卷。雅琴錄一

卷。阮咸圖一卷。彈琴手法一卷。佐世聖廟同時人也。下所抄譜書性見。

御文章云。八月十・五・夕^ニ待^ル月^ヲ。席^ニ上^ニ各分^ニ二字^ニ得^ル。九日侍^テ宴^ニ。賦^ニ山人^ト獻^ス。一^ニ菜^ニ莛^ト杖^ト。一^ニ應^レ製^ス。仲春釋奠^ノ禮^ト講^ス。毛詩^一。同賦^ニ發^ス。言^ハ爲^レ詩^ト。下略。○團坐言^レ懷^ル。暗將^ニ年事^一。幾^カ

(上欄外に「廿五才」と注記す。)

蹉跎。若不^ニ團居^セ。欲^ニ奈^レ何^一。酒^ハ爲^レ忘^ル憂^ヲ。盃有^レ數^ニ。詩^ハ綠^レ叙^ル志^ヲ。紙猶^ニ多^シ。自^ニ慙^キ。少^キ日徒^ニ廻^ル。廻^ル。偏^ニ恨^ル夕^ヲ。陽^ハ不^レ用^ル戈^ヲ。我^ハ意^ヲ君^ニ情^ヲ今^ニ夜^ニ盡^ス。暁天歸^ル。處^ニ莫^ク空^ニ過^ル。○王度讀^ニ論語^一。竟^ニ聊^ニ命^ニ。一六のウ

*紙：昏

盃酌^一。圓珠初^ニ轉^ル。舞象遂^ニ丁年^一。下略

論語義疏云。巨鏡百尋。所^レ照^ル必^ニ偏^ニ。明珠一寸。包^ニ含^ス

六合^一。五經如^ニ巨鏡^一。斯書如^ニ圓珠^一。故名^ニ斯經^一。論語^ヲ爲^ス

圓珠教^一

御文章云。花^ノ下^ニ錢^ニ諸^ニ同門^一出^テ外^ニ吏^ト。各分^ニ一字^ニ探^レ得^ル。送^テ

客^ノ何^レ先^ニ點^ル淚^ヲ痕^一。應^レ緣^ニ別^レ後^ニ不^レ同^レ門^一。今^ハ朝^ニ記^シ得^ル歸^ル來^ル日^ヲ。

万^ノ里^ノ程^ノ間^一。折^レ鞅^ニ晚^ニ春^一。同門會^シ飲^ス。既^ニ庭^ニ上^ニ殘^ル花^一。榮^ル

枯物我自應^レ知^ル。春晚^ニ殘^ル花^一幾^ニ許^ル枝^一。人有^ニ同門^一芳意^ヲ篤^ク。

鳥^ノ無^レ比^レ翼^ヲ暮^ニ。栖^ル移^ル。攀^ル。時^ニ醉^ル裏^ニ何^レ遊^ル。手^ハ落^ル。處^ニ盆^ニ中^ニ莫^ク濫^ル。一七のオ

*栖：棲

吹^一。一道馨香今^ニ日^一盡^ス。明^ニ朝^ニ眉^目爲^レ誰^ニ施^ス。

田氏家集云。晚春。同門會飲。既^ニ庭^ニ上^ニ殘^ル花^一。結^レ交^ニ童^ニ非^ニ

遂^ニ長^一期^一。非^レ字^ニ可^ク疑^フ。或^ハ即^ニ事^ニ春^ニ遊^ル何^レ太^ク遲^ク。年^ハ老^レ恨^ル。稀^ク同^ニ

飲^ス日^一。花^ハ哀^ク苦^ク。少^キ共^ニ看^ル時^一。相^ニ逢^ル顏^ハ色^ハ紅^ク猶^レ在^ル。一^ニ去^ル榮^ニ花^一

聊^モ不^レ追^ル。閑^ニ散^ル只^ニ慙^ル良^ニ友^一會^ス。殘^ル花^ハ勸^レ醉^ル未^レ須^レ辭^ス。

御文章云。過^ニ三^ニ尾^一。州^ノ滋^ノ司^ノ馬^ノ文^ノ亭^一。感^ニ三^ニ舍^一弟^ニ四^ニ郎^一壁^ニ書^ニ彈^一。琴^ハ妙^ク。聊^モ叙^ス所^ニ懷^一。獻^ス以^テ呈^ス。寄^ス下^ニ略。○哭^ニ菅^一外^ニ史^一。奉^レ寄^ニ安^ニ着^一

作郎一ノ下略○九日待レ宴二同賦レ喜レ晴ヲ應レ製并序
類聚國史云。十年九月九日巳亥。天皇御二紫宸殿一。(二七のウ)

*着：著

宴三于群臣一。内教坊奏二女樂一。文人賦二喜一。晴詩二。宴一竟。賜

レ禄各有レ差

三

代實録同

御文章云。安氏諸大夫爲二先妣一。修スル法華會一願文。貞觀

年九月廿五日一ノ下略○晚冬二過一文郎中二一一既二庭前一早梅一并序一ノ下略

北野縁起一本官所藏一云。貞觀十二年の事にや春の比都良

香の家の人々弓射せる所へ行あひ玉ひたりければ人々

思ひけるは此君は戸ほそをとちしきみを出すして学問

のらうをこそつみ給へは弓の本末も知給はしとおも

〔上欄外に「弓場」と注記す。〕

ひて心みに御弓射させ給てんやと申玉ひければ弓場(二八才)

に立出て弓に矢をさしはけて引きわたし給ひたる御姿

養由がひちつきかくや有せんとめもあやにてみ奉り

ける御すかたのみならずはなち給ふにひとつもはつれ

さりければ都良香より始て人々おとろきあさみ申けり

御文章云。東京、宣風坊有二一家一。家之坤一維有二一一廊一。

廊之南極二有一二局一。中略余爲二秀才一之始。家君下レ教曰。

此、局、名處也。鑽、仰之間。爲二汝、宿廬一。余即、便移二簾席一、

以整。之運、二書、籍、一、以安、之一。師二出自一下ノ書一實記中

本朝續文粹云。參二安樂寺一詩。江都督。抑亦長二衆藝一。(二八ウ)

百中嘲二南皮一(一ノ上ノ下略)

太平記云。上略切テ放タル矢色弦音弓倒シ。五善何レモ

遅ク勢有テ。矢所一寸モノカズ。五度ノ十ヲシ給ヒケレハ都

良香感ニ堪兼テ自下^{ヲリ}テ御手ヲ引。酒宴數刻ニ及ヒ様
くノ引出物ヲソ進ラセラレケル

羅山文集。菅丞相傳自注云。在^ニ都良香宅^ニ射^レ弓。善

得^ニ其禮^一。初右・大・臣就^ニ良香^一學。良香見^ニ其才^一而耻^レ爲^ニ
其師^一。

天神記^{入建久}云。都良香おとろきあさみて射^{シヤクハ}策中^ハ鶴^{コウ}之^一（一九才）

微なりとそ相申ける^{入上下略}往^ハ柄本^ニ。
^{鳥宮本。並同。}

天神之縁起^{入本官所藏弘安年撰}云。彼柳葉百歩のいきほひ百

^{行忠御書行光画}

發百中の藝昔の傳を今見にあらはせり亭主をはし

めてをとろきあさますといふ事なし^{上下略}

北野縁起^{入本官}云そのとりの春都良香羅城門をとをり

^{藏本}

〔上欄外に「拾芥抄^ニ／羅生門。／二重閣／七間。門／外二丈。／垣基半／二尺。丈／行七尺。／溝廣一／丈。東西／南北如^レ
是^一と注記す。〕

けるに春風暖かに麴塵糸をみたせる柳の家々のかきね

ことにみへければ氣霽風梳新柳髪と詠したりけれと

も注の句をは案し給ひたりけるに羅城門の上より大に

しはかれたる聲にて水消浪洗舊苔鬚とそ付たりけ（一九ウ）

る良香身の毛もたちておそろしかりけれともさすかに

嬉しくていそき菅家に参りて良香こそ羅城門にて詩作

りたれと申て我物かほに氷消ての句をは申つ、けたりけれ

は菅丞相うち笑はせ給ひてあはれ人の物はほしけにお

はするかな上の句こそ良香の詞とおほゆれ下句におきては鬼神の注たる物かなとの賢才の士におはせず飭ある人にておはしけるこそあましましけれと仰られければ良香あまりに心うくはつかしく顔より火の燃出たるやうにこそ覚へけれそれよりして菅丞相は神に遍し給へ」(二二〇オ)りと人しりたりける

北野天神御縁起入建久年撰
梅橋坊藏本云。都良香こそ羅城門ニテ詩

ニ似タルコトヲ申テ候ヘトテ我物カホニ氷消テハノ句ヲ申シツ、ケタリケレハ菅丞相ウチ笑ハセ下ヒテアハレ人ノ物ヲハホシケニオハスル殿カナ上ノ句こそ都良香ノ言ハトモ覺ユレ下ノ句ニオイテハ鬼神ノ告タル物ヲヤ上下略
入菅家藏北野天神御記。一行坊藏

北野天神御縁起。並同

十訓抄云。都良香竹生嶋ニ参リタリケルニ眺望心ニスミテ三千世界眼前ニス盡ト云句ヲ作テ其末ヲ案得サリケレハ靈天託宣ヲ下テ十二因縁ハ心裏ニ空シ一句ヲ加ヘ給ケリ」(二二〇ウ)同人羅城門ヲスクトテ氣霽風梳新柳髪ト詠シタリケレハ樓上ニ聲アリテ氷消浪洗舊苔鬚トツケタリケリ良香菅丞相ノ御前ニテ此詩自喚シ申ケレハ下ノ句ハ鬼ノ詞ナリトソ被仰ケル東齋隨筆同

江談抄云。氣霽風梳ニ新柳髪。氷消浪洗ニ舊苔鬚。春暖
都良香古老傳云。彼此騎馬人。月夜過羅城門。其内

誦此句。樓上有聲。曰阿波禮云云。文之神妙。自感

鬼神也

撰集抄云。延喜のはしめつかた都良香きさらきの十」(二二一オ)

日ころ内へまいりけるに朱雀門のほとりにて春風にあをやきのなひきけるをみて氣霽ては風新柳の

髪を梳ると詠して下の句をいはむとて打案するに朱雀門のうへよりあかき鬼のしろきたうさ、して物おそろしけ

なるかおほなる聲して氷消ては浪舊苔の鬚を洗

とつけてかきけすことくうせにけりとなむこの詩のこ

ころこと葉もたくひなくそ侍ける實に風大虚にふけ

は氣は四方にはれて青柳髪とみえて風にけつれり初

めて氣はる、春にしあれは新柳といふも心よろしき」(二二ウ)

なるへし鬼のつくる下の句又有かたくそ侍るへき

水は氷にとちられてみきは舊苔す、かる、よしな

るを氣はれて新柳風にけつらる春はこほりひら

けて苔の鬚や、水にあらはれ柳を髪とすれば苔

をひけとする草木の本末なる心にてこめたり

返すくおもしろう侍り

梅城録云。浪洗_二苔鬚_一。知_二鬼語_一。聖廟記云。寛平八年

初春。大内記都朝臣良香。過_二羅生門_一。見_二陌頭楊柳_一。

散_二麴塵絲_一得_二句_一。氣霽風梳_二新柳髮_一。沈吟久之。空_二(二二才)

中有_レ聲續_レ曰。氷消浪洗_二舊苔鬚_一。良香私喜曰。奇哉。

所謂神助也。遠謁_二菅公_一。託曰。良香得_二佳對_一。要_二公品

評_一。遂舉_二前一聯_一。菅公笑曰。上句固卿所作。如_二下句_一。

乃鬼仙語也。拾以爲_二吾有_一。獨不_レ愧_二於心_一乎。良香悚

然吐_レ實。自_レ茲人咸知_二官公通_レ神焉_一。此書曰。寛平八年。撰集抄

神社考_レ。羅山_{道春}云。都宿禰良香。初名言道_レ中略_二菅右相_一。嘗

就_レ良香_二學焉。良香嘗作詩。而得_レ氣霽風梳_二新柳髮_一。

之句上。未得_二對句_一。偶過_二羅生門下_一。吟_二此句_一。時門上有

聲曰。水消波洗_二舊苔鬚_一。其後良香。告_二蒼右相_一。右相_二(二三ウ)

曰。此句蓋羅生門鬼之所_レ作也。良香嘆_二其通_二于神_一

矣_{下略}

禁秘御抄階梯云。守覺法親王記_{建久二}鬼_一間_レ繪_レ之

事。人不_レ見_レ之。先年相_二尋繪所_一之處。固_レ辭_申申_レ終_レ不_レ顯_二

其繪樣。如何。爲長_レ云。凡此條。自_レ古_レ至_レ今。雖_レ聞_二鬼_一間

名_一未_レ見_二其消息_一云云。秘藏_レ故歟。然_レ存_レ人_レ尤_レ稀也。不

可_レ言_上之由。辭_申。賦_二目_一於_二兩脚_一。親_レ經_レ資_レ實。同_レ辭_レ之。

予答云。鬼王_二三面_一三目有_二一角_一其_レ色赤色也。間_レ良

方_二畫_レ之。形如_二逃_レ去_レ勢_一。又勇_レ士_レ臺_レ人_レ提_レ劍_レ如_レ追_レ鬼_一。鬼_二(二三才)

王_二願_レ勇士_一走形也。此_レ時爲長_レ云朱雀門鬼者。鬼_一間

(上欄外に「三代實_レ錄_二長安_レ南面皇_レ城門是_レ謂_二朱雀門_一。」と注記す。)

鬼王_二所變也_一云云。彼鬼王_二青色_一一面也。長谷雄卿

記有_レ之云云赤色青色異說也。後可_レ決之

天神記_レ建久云。やかて其年の三月廿三日射策しまし_レく

きみやこの言_{道問頭}問頭の博士にて二問のうち_レに句_二ことに

數義を合して徵事かきりなかりけりこれをこたへ給に

文辭甚美にして義理みな返しきされとも凡夫に似同

けむかために一事しらざる氣しきにてしはらく思

案しまし_レく其時橘廣相毛沓をさしはき省門にた_二(二三ウ)

ちよりこの事をうちみて馬にむちうち嵯峨の隱君

子の御料にまいりてかくと申ければ隱君かむかへあたへき

則省門にかへりてひそかにつたへ申けるこそ權者のふ

るまひはは、かりかたくおほゆれそれより後そ射策射の庭には人をもよせぬとうけ給はり侍敷在柄本豊宮本。並同。

江談抄云。廣相任左衛門尉。是善卿不破許此車云云。

云。菅家献策之時。來省門。彼時強不籠小屋。只徘徊、伺省門。廣相着毛沓。到此處。廳事之處々。相共披、勸之。

有二事不通。廣相策馬。到嵯峨之隱君子之許。問之（二四才）云云。隱君子事。問云隱君子名如何。被答之淳歎字

被讀可嵯峨源氏之類歎。策科判問。諸儒論。尤可二不見物也。是善與三音人。相論。尤有レ興云云下略

紹運錄云。醍醐天皇

號嵯峨隱居君子。白髮童形云々。

朱雀天皇
村上天皇
童子 廿九

隱君子時代
少遜可更考

政事要略云。十二年三月廿三日。對策

八頁
〔上欄外に「及第」と注記す〕

公卿補任云。十二年三月對策及第

御傳記云。同十二歲三月廿三日。式部省試對策（二四ウ）

菅原氏系圖在柄本云。同十二三三三。加一階。對策及第諸家系圖同

都氏文集云。策問。策秀才菅原文二條。明三氏族。問錫

〔上欄外に「策文」と注記す。〕

姓分類。導俗之方著焉。命氏表功。軌物之迹至矣。是

故魯記繫月。天子動建德之風。周官司春。小史從奠。

世之事。至于百。王繫興。有苗有裔。蒸民孳乳。乃父乃

兄。靈。抱漸長。織鷲聳槩。日之幹。神源增流。懸水沸浮。

天之浪ニ。正ニ以ニ系牒一。尋レトモ昭穆一而難レ窮。考ルニ之譜一。家ニ。望門レ。閨一而易シ。感陰陽清和之本。宜レ述ニ其光一。都ニ鞏安一之由一。譚一（二五才）
發所レ出。前謝後謝。爲レ異ニ爲レ同。□餘孰ニ眞孰一。偽ニ。子祖レ。德一
在レ頌。架ニ陸一。機ニ於詞一。濤ニ。家ニ。風著レ詩。沒ニ潘一。岳ニ於筆海一。請分ニ
溜一。漣之味一。莫ニ以河一。漠ニ其談一。辨ニ地震一。問貞ニ。牡孕レ氣一。奉ニ秦一
一ニ以輪功一。富ニ。嫗資レ生一。媿ニ天一。三ニ。以通レ數一。厚ニ。則厚一。矣。沉靜一
爲レ意一。大ニ。實大一。焉柔ニ。順凝レ體一。何以易ニ。彼本性一。落ニ蟾一。於レ
銅ニ。儀一。失ニ比一。常ニ。情一。驚ニ。雞一。雉ニ。於金運一。寓ニ。言海一。水ニ。聞其說一。而
猶レ疑一。據ニ。迹幽一。荒ニ。依何物一。而爲レ變一。自ニ。玄律一。派ニ。遠一。控ニ。靈枝一
而東レ。流ニ。白馬蹄一。輕負ニ。寶葉一。而西ニ。入一。恒ニ。沙衆一。生ニ。盡清一。餘一。
化之澤一。娑婆世ニ。界一。爭鑽ニ。致之堅一。六ニ。々一。卅ニ。六一。六ニ。種一。動一（二五ウ）
之名難レ分一。一ニ。一一。各ニ。三一。三ニ。因一。緣ニ。之別一。奚ニ。辨一。迷ニ。而未復一。何一。
方ニ。爲レ南一。

御文章云。對策。省試對策。文二條貞觀十二年三月廿三日。少內記都。

言レ。道問一。五月十七日及第。明ニ。氏一。族ニ。竊一。以ニ。天一。形地レ。翻レ。人ニ。倫一。則ニ。三才一。之

所レ。克レ。諧一。翼ニ。子謀一。孫ニ。姓氏一。則ニ。九族一。之攸ニ。周一。備一。因ニ。其一。事一。以

尋ニ。其本一。稟ニ。于山川一。義ニ。不一。妄ニ。施一。觀ニ。其宗一。以ニ。討レ。其源一。資ニ。于

君父一。詞ニ。無一。虛ニ。設一。是ニ。知一。周ニ。官者一。姬ニ。公一。之制一。自ニ。謂レ。聖人一。立

言一。系ニ。世一。以ニ。分レ。宗一。春秋ニ。者一。魯史ニ。之名一。故ニ。云一。天子建レ。德一。因ニ。生一。以ニ。賜レ。姓一。法ニ。無一。獨ニ。令一。道ニ。在一。三人ニ。弘一。雖ニ。自一。君ニ。爲レ。政一。何ニ。禮一。之一（二六才）

拘一。而來レ。者ニ。難一。誣一。後ニ。生一。可レ。畏レ。者一。也。是以ニ。秦一。之兼ニ。天下一。也。

天下ニ。僉一。曰一。舊迹ニ。已一。除一。漢ニ。之得一。皇ニ。圖一。也。皇圖ニ。亦一。復一。世ニ。本

能レ。立一。王符ニ。箸レ。論一。欲レ。令レ。聖一。賢ニ。必見一。風ニ。流一。管寧ニ。發レ。談一。在レ。使一。下

衰亂一。更加ニ。矯正一。嗟乎一。奉レ。春一。之賜一。姓ニ。劉一。氏一。御レ。龍一。曾學ニ。於

何人^ニ。巨^ハ君之命^ヲ。氏^ヲ王^ニ家^ニ。馭^レ鶴^ニ。詎^ム傳^ニ於非^ノ類^ノ。稽^ハ從^ニ車^ニ正^ニ。叔夜逃^テ仇^ヲ以移^シ山^ヲ。疎^ハ自^ニ儲^ニ端^ニ。孟達避^レ難^ヲ而斷^レ足^ヲ。施^ハ之^ニ。稀裕^ニ。祖^ノ考未^シ必^ズ享^シ其^ノ苾^ヲ芬^ヲ。用^ニ之^ニ禱^ニ。衿^ニ。家門何^ヲ以^テ謝^セ其^ノ禽獸^ノ。聿^ニ修^ニ之^ニ德^ヲ。何^ヲ夫^ノ爽^ヲ。賦^ニ。辨章^ニ之^ニ儀^ヲ。自^レ茲^ニ失^レ矣^ニ。國家^ニ。合^ニ符^ニ河^ニ洛^ニ。何^ヲ暇^ヲ指^ニ。應^ニ於鬼神^ノ。追^ニ駕^ニ帝皇^ノ。未^シ嘗^シ馳^ニ。驚^ニ於^ニ〔二六ウ〕

*筭……著

仁義^ニ。車^ノ書之攸^ニ軌轍^ニ。界^{スル}面^ニ者陸^ニ慄^ニ水^ニ響^ニ。禮樂之所^ニ調^ニ和^ニ。忘^ル身^ヲ者重^ニ規疊^ニ矩^ニ。即^ニ百^ノ姓^ノ考^ニ之^ニ一^ノ子^ニ。蒸民誰^レ獨^レ親^ム。其親^ニ。五^ノ寬^ノ繫^ニ之^ニ萬^ノ機^ニ。庶^レ類猶^レ或^レ老^ニ吾^ノ老^ニ。遂^ニ執^ニ謙^ニ退^ニ。事^ニ遂^ニ巡^ニ。聊^ニ費^ニ充^ニ賦^ニ之^ニ草^ニ萊^ニ。以^レ備^ニ憲章^ノ之^ニ管^ニ。夫^ヲ以^テ族^ノ之^ニ

爲^レ言^ノ者屬^ニ也。氏^ノ之爲^レ義^ノ者家^ノ也。家^ノ屬^ニ苟^モ不^レ索^ニ居^ニ。子孫^ノ誰^カ有^ニ疎^ノ隔^ニ。乃^ハ知^ル華^ノ氏^ノ向^ニ氏^ノ。偏^ニ舉^ニ其^ノ人^ノ之^ノ一^ノ名^ニ。載^ニ族^ノ桓^ニ族^ノ。並^ニ指^ニ其^ノ宗^ノ之^ノ愬^ニ號^ニ。三^ノ光^ノ名^ノ之^ノ日^ノ月^ニ。孰^レ不^レ謂^ニ之^ニ乾^ノ象^ニ。天文^ニ。四^ノ瀆^ノ號^ニ之^ニ江^ノ河^ニ。孰^レ不^レ謂^ニ之^ニ坤^ノ儀^ノ地理^ニ。况^レ亦^レ命^ニ氏^ノ非^レ一^ニ。稱^ニ謂^ニ在^ニ我^ニ而^レ不^レ疑^ニ。名^ノ家^ノ是^レ殊^{ナリ}。異^ニ同^ニ自^レ彼^ニ而^レ可^レ視^ニ。〔二七オ〕

曹魯宋衛。發^ニ於^ニ有^レ國^ノ之^ノ通^ニ規^ニ。唐虞殷周。起^ニ於^ニ膺^レ圖^ノ之^ノ大業^ニ。以^レ爵^ニ則^ニ王^ノ公^ノ侯^ノ伯^ノ。以^レ官^ニ則^ニ司^ノ馬^ノ司^ノ空^ノ以^レ事^ニ則^ニ巫^ノ卜^ノ陶^ノ熙^ノ。以^レ字^ニ則^ニ伯^ノ仲^ノ叔^ノ季^ノ。行^ニ迹^ノ之^ノ累^ニ。三^ノ桓^ノ七^ノ穆^ニ。其^ノ稱^ニ。〔二七イ〕

繫^ニ於^ニ先^ノ宗^ノ一^ニ。家^ノ舍^ノ之^ノ居^ニ。北^ノ郭^ノ東^ノ門^ニ。其^ノ理^ニ因^ニ於^ニ舊^ノ壤^ニ。如^レ斯^ノ之^ノ類^ニ。寔^ニ繁^ニ有^レ徒^ノ。推^ニ而^レ廣^ニ之^ニ。所^レ可^レ勝^ニ載^ニ。然^レ則^ニ自^レ齊^ニ適^ニ楚^ニ。管^ノ修^ニ既^ニ爲^ニ陰^ノ大^ノ夫^ノ。温^ノ故^ノ知^レ新^ノ。晉^ノ卿^ノ先^ニ有^ニ陽^ノ處^ノ父^ノ。以^レ和^ノ求^レ類^ノ。遇^ニ堯^ノ主^ニ而^レ自^レ可^レ聞^ニ。因^ニ清^ノ引^ニ源^ニ。辭^ニ晉^ノ國^ニ而^レ亦^レ何^ノ去^ニ。况^レ嘉^ノ名^ノ不^レ墜^ニ。已^ニ覲^ニ君^ノ珍^ノ之^ノ帶^ニ。都^ノ菜^ノ邑^ノ惟^レ存^ニ。更^レ知^ニ趙^ノ車^ノ之^ノ成^ニ。輦^ニ。咎^ノ繇^ノ之後^ニ。六^ノ安^ノ子^ノ安^ノ則^ニ得^ニ其^ノ略^ニ。而^レ遂^ニ得^ニ其^ノ中^ニ。〔二七ウ〕

*候……侯

齊・君之相。晏・平仲・平則知其一。而未_レ知其二。余_ハ是荆安之族。源出_ニ由_一余_一。劭_ハ則穎・川之人。說通_ニ應劭_一。歎_ハ鴻臚之_レ後。至漢季_ニ而育_ニ三_一輔_一。謝_ハ靈_ハ運之_レ先。出_ニ陳_一留_ニ而流_ニ千載_一。尋_ニ之_一其_レ本_一。南北殊_ニ宗_一。討_レ之_レ其_レ源_一。有_ニ何_一真偽_一。謹對。辨地震。竊_ニ以_レ陰陽不_レ測。上_レ帝假_ニ手_一於_レ人_一君_一。性_ハ命難_レ言。先王設_ニ機_一於_レ號_一。令_レ道_一以_レ範_ニ三_一極_一。則風雲不_レ敢_レ祕_ニ其_レ功_一。政_一以_レ威_ニ三_一侮_一五_レ行_一。則造_レ化_一或_レ猶_レ失_ニ其_レ法_一。夫地_一者。通_ニ三_一之位_一。得_レ一_レ之_レ儀_一。卦_ハ坤德母_一。功_ハ已_レ隆_レ焉。動_ハ順靜方_一。義_ハ亦大矣。隴_ハ西鎮_一。壓_ニ同_レ命者_一四百餘家。河_ハ東動_レ搖_一。共_ハ憂者_一。四_一〔二八才〕
*母_ニ母_一

十九郡。沴災之_レ至。當_レ有_ニ所_一由_一。傷_レ害之_レ生_一。殆不_ニ虛發_一。蓋以_レ呂_ハ氏_一之_レ十_一有_ニ一_レ紀_一。誠_ニ其_レ令_レ錯_ニ三_一春_一・秋_一。箕子之_レ洪_一・範九疇。陳_ニ其_レ教_一由_ニ狂_一・僭_一。火_ハ災發_ニ於_レ讒_一・口_一。風_ハ變生_ニ於_レ濫_一・刑_一。時_一〔上欄外に〕「火災發_ニ讒_一口_一等_ニ御左辻_一後_ニ大火_一諸_レ災蓋_ニ神慮_一豫_ニ知_一而懸_レ記_レ之_レ可_レ畏_レ可_レ慎_一」と注記す。豈泰_一而安_レ之_レ哉。計_レ不_レ可_ニ以_レ得_レ已_一也。是_ハ知_レ神靈不_レ詬_一凶_一。德者_ハ妖_ハ孽_一之_レ形_一。聲_ハ天_ハ鑿_レ孔_一。明_ハ各_ハ微_レ者_一。君_ハ王_ハ之_レ警_一。誠_ハ魯_ハ哀_レ之_レ無_ニ日_一蝕_一。天_ハ意_ハ豈_ニ非_ニ譏_レ之_レ何_一益_一乎。楚_ハ莊_ハ之_レ禱_一山_一・川_一。人_ハ事_ハ抑_レ亦_レ求_レ過_ニ於_レ天_一也。若_レ夫_ハ孔_ハ晁_ハ之_レ存_ニ目_一擊_一。陽_ハ氣伏而不_レ得_レ升_一。陽_ハ父_ハ之_レ發_ニ臆_一談_一。陰_ハ氣迫_レ而不_レ能_レ出_一。春_ハ秋公_ハ羊_ハ之_レ說_一。乃_レ謂_レ其_レ來_ニ必_ニ以_レ其_レ時_一。尚_ハ書_ハ夏_ハ侯_ハ之_レ談_ニ謂_レ其_レ〔二八ウ〕起_ニ必_ニ以_レ其_レ事_一。苟_ハ君_ハ臣_ハ得_レ道_一。則隱_ハ々_ハ吞_レ聲_一。而山_ハ車_ハ轉_レ輪_一。苟_ハ政_ハ教_ハ惟_レ治_一。則鈴_ハ々_ハ絕_レ響_一。而浪_ハ井_ハ飛_レ液_一。暴_ハ虎_ハ當_レ斷_レ而必_レ斷_一。蔡_ハ邕_ハ之_レ議_ニ未_レ兼_一。施_ハ經營_ハ可_レ修_レ以_レ必_レ修_一。樊_ハ巴_ハ之_レ諫_一。豈_ハ通_レ論_一。彼_ハ漢_ハ張_ハ衡_ハ之_レ機_一。巧_ハ不_ニ必_ニ取_レ驗_一於_レ一_レ方_一。晉_ハ穆_ハ帝_ハ之_レ異_一。聲_ハ誠_ハ宜_レ發_ニ災_一於_レ末_一。運_ハ蟾_ハ蜩_ハ者_一陰_レ蟲_一也。故_ハ應_ニ地_一動_一

而承_二銅_一丸_一。鷄雉者聰禽也。故聞_テ雷_ノ響_一以發_二鳴_一。至_レ若_シ羽_ノ蝶_ノ飛_レ說_レ。開_二素_一道_ノ之_レ玄_一宗_一。游_レ鳧_ノ寓_レ言_一。定_二三_一年_ノ之_レ一_一動_一。上_レ志_レ惟_レ備_一。載_レ地_ノ者_レ水_ノ德_レ靈_レ長_一。先_レ談_レ已_レ存_一。乘_レ水_ノ者_レ地_ノ形_一。脈_ノ道_一。已_レ云_レ乘_レ水_一。流_レ波_ノ相_レ薄_一。何得_二安_一存_一。亦曰_レ載_レ地_一。同氣〔二九才〕

*開……關